



第367号

2025年11月1日

編集・発行
春風地区
コミュニティ委員会
(春風公民館)

春風の子どもたちと半世紀 思い出も卒業生2000人分！

はるかぜの
たからばこ

春風自慢の人・もの・
場所などを紹介します！

春風トランペット鼓隊指導者 国田 健年さん(70)

春風地域の夏祭りや運動会、クリスマスコンサートなど、イベントなどでおなじみの春風トランペット鼓隊。創部から2年目に指導者となった国田さんは、今年で50年目を迎えました。変わらぬ優しさで、子どもたちに音楽の楽しさを伝え続ける国田さんに話を聞きました。



「先生優しい！大好き！」
子どもたちが声をそろえる国田さん

今年でちょうど50年。春風小学校で活動するトランペット鼓隊を率いる国田健年さんの歴史は半世紀に及びます。

「ジャズバンド『ペネロプ』のリーダーを務め、春風公民館で練習を重ねていた大学2年生のころ、地域の役員に声をかけられたのがきっかけでした。当時20歳だったのに気付くと今や70歳。あつという間でした」と、穏やかな笑顔が優しい人柄を物語ります。

国田さんと音楽を強く結びつけたきっかけは小学6年生で憧れたベンチャーズ。尼崎に初めてできたダイエーで展示された、3万円のドラムが欲しくてたまらなかったことが今でも忘れられないそうです。鳴尾中学校入学後はサッカー部に入りましたが、音楽の熱はもろろん冷めやらぬ。お年玉をためて、約7万円のドラムを購入。部屋の窓に毛布を貼りつけて、日々、練習に明け暮れました。やがて文化祭で演奏を披露したいと意



みんなを指導する国田さん20代のころ

気込みますが、当時はまだエレキバンドなど不良のイメージが強い時代。何かと厳しい環境の中でしたが、理解ある音楽の先生の協力の下、大成功を収めました。同時にサッカー部も全国大会に出場したといえますから、国田さんはさぞモチモチだったはず！

「文化祭の演奏はインパクトが強く、当時の鳴中生は今でも覚えてくれてるんじゃないかと思います」照れくさそうに笑う国田さんの青春時代が垣間見えるようでした。

高校に入っても、自分たちの音楽を追及し、文化祭ではビッグバンドジャズをブラスバンド部と合同で披露。これまでにないクオリティーだと大きな話題を呼んだそうです。

春風トランペット鼓隊の隊員数は現在9人。毎週土曜日の10時～正午、春風小学校クラブハウスで練習しています。

平成9(1997)年からは谷涼子先生も加わり、現在まで2人で力を合わせ子どもたちの指導に当たっています。地域のイベントで演奏したり、上甲子園中学校吹奏楽部とコラボしています。最盛期には80人ほどいた隊員も少子化とともに減りましたが、音楽はいつの時代も子どもたちを明るく元気にしてくれます。

「子どもたちはスポンジのように吸収します。できないことができるようになる喜びを味わってほしい。あくまでも青愛協のグループなので、気軽に楽しむのが一番です」と、国田さんは常に自然体です。好きな音楽に関わっていきることがうれしいと輝く瞳はまるで少年のよう。卒業生はすでに2000人を超えました。そのうち、4世代でお世話になる家庭が出てくるかもしれません。

トランペット鼓隊
部員大募集中！



和気あいあいとした練習風景

安心の居場所へ 「サポートルーム」活動

上甲子園中学校では、昨年度から「サポートルーム」が設けられています。通常の登校や教室に入りづらい生徒にとって安心できる居場所となるよう、独立した教室を活用した取り組みです。

昨年度は雑然としていた教室内も、今年のゴールデンウィーク後には机や掲示物が整えられ、より落ち着いて過ごせる空間へとリニューアルされました。今年度は昨年度より大幅に利用時間を広げ、平日の3～5時間目にオープンしており、より通いやすくなっています。

現在利用している生徒たちは通うタイミングや時間帯が異なるため、それぞれのペースで過ごしています。先生が交代でサポートを務める他、西宮市の嘱託「居場所サポーター」も週1回訪れ、子どもたちを支えています。



黒板も自由に使えます



教室は書架も設けられた落ち着いた空間となっています

カラーで紹介できないのが残念



1年生の学級旗



各クラスのキャッチフレーズも工夫が凝らされています

スマイル学級の作品



細かい貼り紙細工になっています

登校してきた生徒を迎えるロビーには、季節ごとに彩り豊かな作品が展示されています。『宮っ子』編集員が訪れた9月末には、体育会に向けてクラスで作成した「学級旗」が飾られており、各組の個性あふれるデザインが目を引きました。さらに、スマイル学級の生徒が制作した美術作品も加わり、ロビーをより華やかにしています。

学校を訪れる保護者の皆さんも、ぜひ展示物に注目してみてください。

季節と個性を楽しむ 中学校のロビー展示

地域でアピール!

広告出しませんか?



介護施設や
飲食店



美容室や
トリマー



医院
動物病院



工務店など

お問い合わせは



宮っ子まで

ボーイスカウト北米派遣

このプログラムは、ボーイスカウトが国際親善を通じて国際理解を深める取り組みです。本年度、私たち阪神さくら地区は7月30日に日本を出発し、まずシアトルとブレマーの2地域に分かれて、2泊のホームステイを体験しました。その後、8月3～9日まで、現地スカウトのキャンプで、多くの貴重な経験を積み、8月12日に全員無事に帰国しました。



カヌーはみんなの呼吸を合わせることが大切です

キャンプでは、メリットバツジ(日本でいうボーイスカウトの技能章)の取得を目的とし、スカウトたちはライフ射撃やサバイバル、カヌーなどさまざまなプログラムの中から興味のある項目を選び、グループに分かれて、技能の習得に取り組みました。最初は緊張のあまり、現地

大学生記者がゆく！



言葉や文化の違いを超えて交流できました

このキャンプは個人の技能習得が主な目的でしたが、プログラムの中にはチームワークや国際交流を深める内容もあり、ボーイスカウトらしさを強く感じました。キャンプ場の運営を担っていたのは、ベテランの大人だけではなく、私と同世代や年下メンバーが中心となっていたことに驚きました。食文化の違いにも驚きました。特に、ジャガイモが野菜として一般的に扱われていることは、日本との感覚の違いを感じる興味深い発見でした。

の人たちと交流しようとせず、手助けがないと動けなかったスカウトたちが、キャンプの終わりににはまるで別人のように自ら積極的に行動し、多くの人と交流できるようになっていったことに、一番驚かされました。



上甲子園中学校の後輩スカウト4人と一緒に参加したのも良い思い出です

【Q】自己紹介をお願いします
【A】武庫川女子大学建築学部 建築学科2年の仁木茜(にきあかね)です

【Q】取材を意識して記事を書いた感想は？
【A】自分の経験をどのように伝えるかを考える良い機会にもなりました。

【Q】将来の目標はなんですか
【A】世界中で活躍できる建築家を目指しています。空間全体をトータルに演出できる力を身につけ、国や文化を越えて人々の暮らしを豊かにするデザインを追求していきたいです。



仁木茜さん(20)

2025 ふれあい夏祭り

8月2日

記録的な猛暑となった8月でしたが、地域の皆さんの運営の下、今年も大勢の来場者でにぎわいました。



迫力あるパフォーマンスで魅せる上甲子園中学校吹奏楽部



各屋台には行列もできていました



元気いっぱい
トランペット鼓隊



自分たちで光る
グッズを選ぶの
も楽しみの一つ



昆虫博士 ますます進化中

4年前に本誌で紹介した春風の昆虫博士・徳田慶介さんによる講座「私の虫活〜離島の虫〜」が開かれました。

高校生となった今でも、伊丹市昆虫館友の会に所属し、近隣の山でフィールドワークを続けています。今回の発表では、西表島や石垣島、奄美大島、奄岐・対馬などの離島での採集体験を中心に紹介。今年の夏には沖縄本島北部のやんばる国立公園を訪れ、さまざまな昆虫との出会いや体験を語りました。

また、会場には標本や生きたエレファスゾウカブトも展示され、地域の人々にとって学びと発見のある良い会となりました。将来は大学農学部に進学し、博物館学芸員として昆虫の魅力を広めたいという夢を語る徳田さん。今後の活躍がますます期待されます。



標本を手にした徳田さん

防災講座で意識高めて！

西宮消防署員2人による春風家庭防災講座が、9月11日、春風公民館で行われました。まず「身近な火災の原因と対策」では、スマホバッテリーなどのリチウムイオン電池の取り扱い、仏壇のろうそくや線香、料理中のコンロについての講義を、スライドで分かりやすく学びました。続いて、火災に関するDVDを視聴した後、外に出て、実際に訓練用の消火器を使う体験も行いました。

参加者との質疑応答も盛んに行われ、皆さん熱心に学んでいました。

座学と実践でより
分かりやすく！

地元に響くジャズの音色

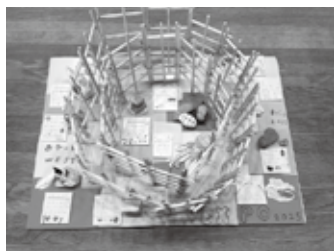
ウエストウインズジャズオーケストラのサマーコンサートが、9月7日に春風公民館で開催され、地域の約80人が来場しました。19人編成の迫力ある演奏では、76歳になるメンバーのサクソソロや在籍するプロのトランペッターによるアレンジ曲も登場。ポピュラーの楽曲やラテンナンバー「サニー」など、全9曲とアンコール「見上げてごらん夜の星を」で会場は大いに盛り上がりしました。

平成元(1989)年から活動を続ける同団体は、毎週水曜日に練習を重ね、来春には43回目の定期演奏会を予定。秋には地域イベントにも出演予定です。



音楽に酔いしれるひととき

春風っ子の万博体験！

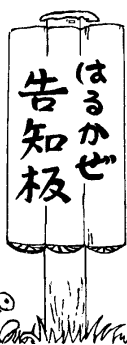


割りばしで組み立てた見事な大屋根リング



ミャクミャクやバビリオンの紹介もあります

春風小5年の村田心春さんが、夏休みに訪れた大阪・関西万博の様子を模型で再現しました。にぎやかな会場の様子が伝わる工夫いっぱいの作品です。



編集手帳

- ☆西宮市中学校連合体育大会
日時 11月6日(木)
- ☆西宮市立小学校連合体育大会
日時 11月4日(火)
- ☆ふれあいクリスマスコンサート
(春風地区健全育成大会)
日時 12月7日(日)
- ☆クリーン大作戦
日時 12月14日(日) 9時
- ☆年末防犯夜警
日時 12月26日(金)28日(日)
19時〜21時
- ☆上甲子園中学校吹奏楽部定期演奏会
日時 12月28日(日)

会場 アミティ・ベイコムホール

この号が発行される頃はまだ秋本番でしょうか。このペンを走らせる9月の終わりは、ようやく猛暑続きだった夏が落ち着きを見せ始めたばかり。国勢調査は歩いての訪問なので助かります。

今年は5年に1回の国勢調査の年です。私も毎回、調査員を担当しており、今回も携わることとなりました。この原稿作成時は訪問調査準備の最中でしたが、近所とはいえ、名前も知らない方ばかりへの訪問です。マンションにも個別に届けなければならぬので、慎重に同時進行を進めました。